

# 腎細胞癌に対する複合免疫療法の奏効予測バイオマーカーの検討

## 1. 研究の対象

2017年1月～2028年3月に大阪大学ならびに関連施設を受診され、組織学的に進行性腎細胞癌と診断された患者。

## 2. 研究目的・方法

近年、進行性腎細胞癌に対する薬物療法が大きく変革を遂げてきており複数の免疫チェックポイント阻害剤もしくは分子標的薬を組み合わせる複合免疫療法が1st line治療となっており予後の改善に大きく寄与している。しかしそれでも奏効率は約50%程度でありgrade3以上の副作用も約60%で生じる。そのため実臨床における複数の医療機関による薬物治療の成績や患者由来検体の情報集積は、診療品質の均一化や患者サポートの向上に不可欠である。このような実臨床データの収集と分析を行うことで致死性である進行性腎細胞癌に対して臨床的に有用なバイオマーカーを創出し患者アウトカムの改善を目指します。研究期間は2024年12月から2028年3月までの予定です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、検査結果、転移部位、カルテ番号 等

試料：病理パラフィンブロック

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料提供は行わず、情報は特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータの共有を行う。データは当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 加藤大悟

解析責任者

大阪大学大学院医学系研究科 泌尿器科学 加藤大悟

共同研究機関及び研究責任者

大阪急性期・総合医療センター（研究責任者 高尾徹也）

大阪労災病院泌尿器科（研究責任者 辻畑正雄）

大阪警察病院泌尿器科（研究責任者 高田晋吾）

大阪国際がんセンター泌尿器科（研究責任者 中山雅志）

大阪医療センター泌尿器科（研究責任者 西村健作）  
兵庫県立西宮病院泌尿器科（研究責任者 岸川英史）  
市立東大阪医療センター泌尿器科（研究責任者 小野豊）  
堺市立総合医療センター泌尿器科（研究責任者 高山仁志）  
箕面市立病院泌尿器科（研究責任者 高田剛）  
住友病院泌尿器科（研究責任者 宮川康）  
市立池田病院泌尿器科（研究責任者 井上均）  
市立豊中病院泌尿器科（研究責任者 三宅修）  
日生病院泌尿器科（研究責任者 垣本健一）  
近畿大学泌尿器科（研究責任者 藤田和利）  
関西医科大学附属病院腎泌尿器外科（研究責任者 木下 秀文）

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：大阪府吹田市山田丘 2-2

電話番号：06-6879-3531

研究責任者の所属・氏名：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(泌尿器科)

講師 加藤大悟

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(泌尿器科) 講師 加藤大悟